

平成 31 年度 県立石岡第二高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	㊤ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・課題に向けた研修や研究を行っており、生徒育成のために先生方は率先垂範し、フォローしていることが成果につながっている。 ・重点目標に向けて努力していることがわかりやすかった。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	㊤ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・先生方の努力がみてとれる。学年ごとの学習テーマの取組が3年間のうちに生徒たちの意識の変化（成長）になっている。 ・H P、Twitter 等による学校からの積極的情報発信は、保護者や地域から理解と協力を得る手段として適切と考える。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	㊤ 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・課題を分析し、次年度への体制づくりができています。 ・学力向上や情報モラルへの課題をより明確にすると良い。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	㊤ 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・学習効果は生徒たちに期待するばかりだ。 ・より具体的改善方策を検討し、さらなる躍進を期待する。
5. 学校の活動が地域社会と連携しているか。指標として、学校の活動が地域住民に知られているか。	㊤ 適切である B 概ね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・学校行事や外部活動で生徒自らの研究成果は自信につながっている。 ・生徒の活躍が随所に見られ、学校全体が活気に満ちてきたと感じる。 ・今まで以上に地域住民との交流を深めることが大切。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。